

四日市市立中部西小学校 学校づくりビジョン (2019年度)

知

学校教育目標
(めざす子ども像)

深い知性
広い心
強い体

(めざす学校像)

子どもが
かがやく
学校

◎確かな学力の定着

- ・日常的な板書とノート指導の重視
- ・繰り返し学習の工夫
- ・算数科の少人数指導やT.T指導の実施
- ・外国語教育(英語)の推進
- ・ICT教育(プログラミング教育)の充実
- ・子どもが自主的に取り組む読書活動
- ・「家庭学習のすすめ」の活用定着と家庭との連携

◎児童の実態把握と指導方法の工夫

- ・個のニーズに応じたきめ細かい支援
- ・日々の子どもの様子の記録と肯定的な評価
- ・特別支援教育の推進

深さ

研修主題

「表現し、みがきあう子」
～話し合いのある授業の創造～

◎問題解決能力の育成

- ・子どもの問いを生む授業づくり
- ・自分の考えを表現する場の設定
- ・主体的・対話的で深い学びの実現
- ・論理的思考力の育成

- ・実生活や地域に学ぶ授業の創造

より良い教育環境の実現のため、校務の効率化を図り、教職員の総勤務時間の縮減・健康促進に努めます。

◎健やかな体づくり

- ・毎学期の体力向上運動(外遊び、水泳、運動会、かけ足運動、なわとびなど)
- ・5分間運動の充実
- ・走、跳、投の運動の推進

◎命を守る取組の推進

- ◎交通安全指導の充実
 - ・交通安全教室、登下校指導、ふれあいパトロールの実施
 - ・安全点検の実施
- ◎防災教育の充実
 - ・地域と連携した防災学習
 - ・教職員の訓練・研修も含めた年6回の避難訓練、緊急引渡し訓練等の実施

◎健康に関する教育の充実

- ・担任と養護教諭・栄養教諭が連携した保健指導・食育指導
- ・子どもアンケートによる実態把握と保護者への啓発

地域

温かいまなざし

体

本校は、市の中心部に位置し、校区の東端にある。校区には駅や繁華街を有するため、児童の交通安全や防犯については特に注意が必要である。また、コミュニティスクールとしての取り組みも進め、日常の教育活動はもとより、学習環境や学校行事においても保護者や地域住民との連携をより密接にしている。近年、様々な生活背景により、生活習慣や価値観の多様化も見られてきたため、関係機関との連携をより一層推進する必要がある。

児童

素直で、たくましく

徳

明るく素直で、違いを認め合い、ともに生活を高めていくこととする心豊かな児童が多い。また、学習に対する姿勢も、主体的に学ぼうとする児童が増えてきている。児童は地域の人や保護者から温かく見守られているが、家庭を含め細かな配慮を必要とする状況もある。また、一生懸命に取り組もうとする児童も少なくない。素直で優しい心と同時に、誰とでもともに生きていくこととするコミュニケーション力を身につける必要がある。

コミュニティスクール・学校参画委員会

参加参画型授業(春・秋の学校公開)

まちかど音楽会

ふれあいパトロール 学習支援員

中部西小学校は明治5年の創立以来、校庭の「むくの木」をシンボルとしてきた。途中、戦火に倒れたこともあり、現在の「むくの木」は3代目である。本校の校章は「むくの木」の葉を模したもので、そこに学校教育ビジョンとして3つの力を位置づけた。

3代目「むくの木」は今日も校庭で子どもたちの成長を見守っている。学校創立150周年に向けた取組を推進していく。

広さ

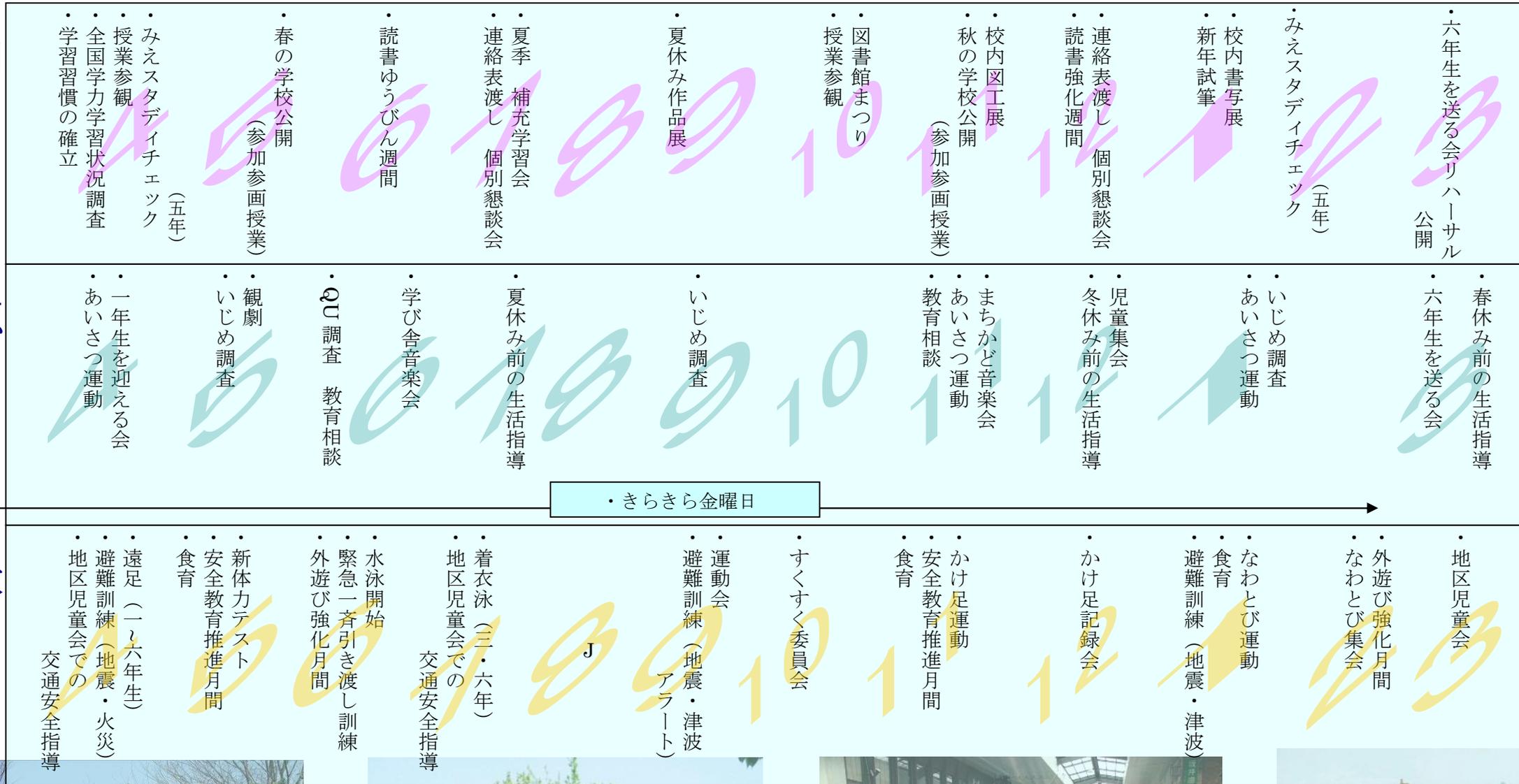
強さ

深さ

知のビジョン

徳のビジョン

体のビジョン



・きらきら金曜日

・由緒堂公書在院次字習

・修学旅行 (環境未来館)

・六年生：戦争体験の聞き取り

・二年生：商店街探検

・公共施設見学

・市役所・図書館

・水道局・博物館

・四年生：三滝川探検

・消防署・警察署見学

